

1 地域包括ケア病床とは？

- 急性期治療を終了し、直ぐに在宅や施設へ移行するには不安のある患者様に対し、在宅復帰に向けて医療管理、診療、看護、リハビリを行なうことを目的とした病床です。
- 在宅復帰をスムーズに行うために「在宅復帰支援計画」に基づいて、主治医、看護師、専従リハビリスタッフ、在宅復帰支援担当者（医療ソーシャルワーカー）等が協力して、効率的に患者様のリハビリや在宅支援（相談・準備）を行っていきます。



2 どんな場合に入院するのですか？

- 在宅あるいは介護施設に復帰予定の方であればご利用できますが、主に次のような患者様が対象です。
- ①入院治療により状態は改善したが、当院にてもう少し経過観察が必要な方
- ②入院治療により症状が安定し、在宅復帰に向けてリハビリテーションが必要な方
- ③在宅での療養準備が必要な方

状態に応じ入院期間は調整しますが、40日を限度としております。

- 地域包括ケア病床への直接の入院、一般病床からの転床を主治医が判断して、患者様やご家族の方へ提案させていただきます。ご了承いただけた場合、地域包括ケア病床へ移動し継続入院となります。

在宅移行後の患者様が安心・安全に地域で生活を送っていただけますように、医師会の先生方や地域の医療機関、施設の先生方と共に地域完結型医療を目指し更なる連携強化に努めていきたいと考えております。今後とも何卒よろしくお願いいたします。